



物流施設開発用地を愛知県一宮市にて取得

三井物産都市開発株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：土原伸）は、2023年3月30日付で愛知県一宮市に物流施設開発用地を取得いたしましたのでお知らせします。

計画地は、2021年3月に開通した東海北陸自動車道「一宮稲沢北」ICから0.1km、また、東海北陸自動車道の「一宮西」IC（本物件から約3.2km）を利用し、隣接する一宮JCTから名神高速道路へもアクセスが可能であり、愛知県内のみならず関西・関東圏への広域配送にも適した物流立地です。なお、今後、計画地東側の県道上部に、東海北陸自動車道一宮JCTから愛知県弥富市の伊勢湾岸自動車道鍋田JCT（仮称）までを結ぶ、延長約30 kmの「一宮西港道路」が計画（開通時期未定）されており、更なる輸配送の利便性向上も見込まれております。

当社は今後も三井物産グループの物流ネットワークを活用し、利用者ニーズを的確につかみ、物流機能・物流サービスの高度化・多様化に応える物流インフラ基盤としてのハード&ソリューションを提供し、企業の経営戦略に新しい価値を創造してまいります。

【計画概要】

所在地：愛知県一宮市大和町北高井字千束55番他

アクセス：東海北陸道「一宮稲沢北IC」約0.1km
名鉄尾西線「苅安賀駅」約0.9km

敷地面積：1,926 坪

延床面積：3,437坪（予定）

規模・構造：S造・3階建

着工：2024年冬（予定）

竣工：2025年冬（予定）

【広域図】

